

中村区

魅力マップ

あるいてみよう！
秀吉・清正のふるさと

発行：中村区役所
2023年2月

中村区のあゆみ

中村という地名は、古くは「倭名抄（平安中期の漢和辞書）」にその名が掲載されています。当時の中村は中村公園一帯を指しており、その時代に数多くの神社、仏閣が建立されました。

鎌倉時代に入り、都である京都と鎌倉との交通が盛んになると、宿場が発達しました。この宿場が東宿です。

1478年に尾張守護代である織田敏定が清州を本拠地とすると、中村地方は「京へ上る」ための重要な地として注目され、岩塚城、稲葉地城、日比津城などの小さな城が造られました。

また室町時代の終わりごろには、中村から豊臣秀吉、加藤清正といった優れた武将が輩出されました。

明治時代になると行政区画の変更が行われ、中村地方には愛知町、中村、常盤村が生まれました。これらの地域は後に名古屋市に編入され、中村区創設の基盤となりました。また、明治19年には初めて鉄道が敷かれ、3年後には東海道線が開通しました。大正時代には、電車とバスが走るようになり、大須から移転した遊廓が開業すると、中村遊廓として全国的に有名となりました。

昭和時代に入ると、中村公園の入口にある大鳥居や現在名古屋駅が完成しました。昭和12年には4区制から10区制に拡大し中村区が誕生しました。

戦後いち早く復興したのは名古屋駅の東側であり、経済成長が進むと、多数のビルが建設され、地下街が作られました。

一方、駅の西側には多くの露店が立ち並びヤマ市として賑わっていましたが、東海道新幹線が開通すると駅西広場や地下街が誕生しました。

現在の中村区は、独自の長い歴史を受けて多くの神社仏閣や史跡があり、太閤秀吉を偲んで行われる「太閤まつり」や、七所社の「きねこさ祭」、市指定文化財の山車など伝統文化が色濃く残っています。一方で、リニア中央新幹線の新駅建設やささしまライブ24地区をはじめとした再開発など、名古屋大都市圏の玄関口にふさわしいまちづくりが進んでいます。



① 菊泉寺

十一面観世音菩薩が本尊。山門の彫刻や境内にある鐘楼は必見です。



② 大圓寺

境内の日比津城主・野尻掃部の墓（宝篋印塔・五輪塔）には、市内最古の銘が刻まれています。



③ 明神社

鎌倉時代、萱津の東宿としてこの辺りが栄えた頃に、部落の鎮守として祀られました。



④ 中村公園

豊臣秀吉ゆかりの地として、園内には秀吉清正記念館や日吉丸と仲間たちの銅像があります。



⑤ 豊國神社

豊臣秀吉を祭神とし、出世開運の御利益があります。参道の大鳥居の大きさは日本有数です。



⑥ 常泉寺

加藤清正らが豊臣秀吉の出生にちなんで創建した寺。秀吉産湯の井戸は必見です。



⑦ 妙行寺

名古屋城築城の余材で加藤清正が再建した寺。境内には清正公誕生之地碑があります。



⑧ 油江天神社

医療や造酒の神である少彦名命が祀られ、油を供えて祈願すると歯痛に靈験があるといわれています。



⑨ 素盞男神社

厄除けの神を祀られ、7月の輪くぐり（輪をくぐり病気を防ぐ）や11月の酉の市が有名です。



⑩ デイサービスセンター松岡健遊館

大きな入母屋の屋根や、2階の高欄ら塗りの透塙が印象的です。



⑪ 椿神社

かつては笈瀬川畔にあり、椿の森に囲まれていました。笈瀬川に棲む河童の伝説があります。



⑫ 八幡社・春日社合殿

別名「赤鳥居」。加藤清正が武運祈願のために奨めたとされる「的射（おまつ）神事」が3月第2日曜日に行われます。



⑬ 中村観音

本尊は総高8mの十一面観音です。境内には習い事成就を祈る「芸人塚」があります。



⑭ アクテノン

稲葉地配水塔として建設され、現在は演劇などの舞台芸術練習専用施設となっています。



⑮ 五反城教会

教会のパイプオルガンは県内屈指の規模。設立の資金は外国の援助や献金箱で集めました。

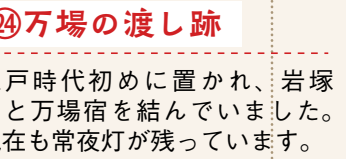


⑯ 日之宮神社

豊臣秀吉の母が男子を授かるよう日参したところ、秀吉が産まれたと伝えられています。



⑰ 万場の渡し跡



⑱ 万場の渡し跡

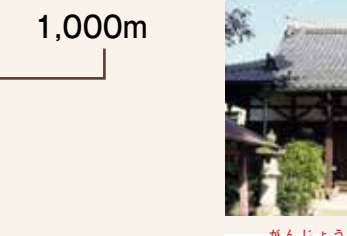
江戸時代初めに置かれ、岩塚宿と万場宿を結んでいました。現在も常夜灯が残っています。



⑲ 遍慶寺

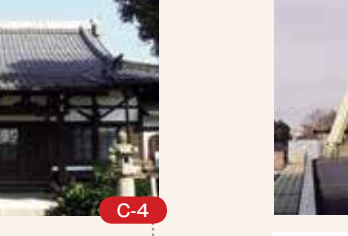
境内にあるイブキは、区内の保存樹指定第一号。その幹回りは2.3mにまで及びます。

0 100 500 1,000m



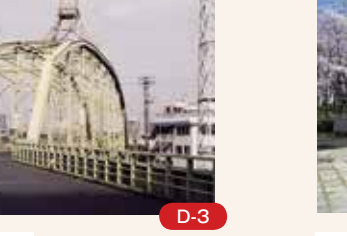
⑳ 願成寺

行基僧正が創立し、天台宗の中でも名高い寺。眼病治癒祈願のお寺としても有名です。



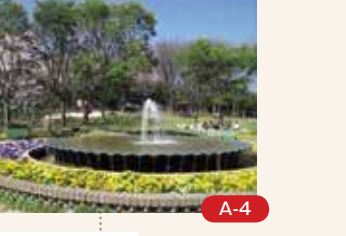
㉑ 向野橋

大きなトラス橋はかつて京都の保津川に架かっていた鉄道橋を移築したものです。



㉒ 横井山緑地

昭和55年に開園。桜やスイセンの名所であり、見ごろの時には多くの人で賑わいます。



㉓ 禅養寺

境内に副田隠斎の家門とされる門や白武稲荷があります。白武稲荷の縁日は参拝者で賑わいます。



㉔ 八角堂

聖堂建築の建物を再建。当初は尾張藩の藩校として使われました。第一土曜日のみ拝観できます。



太閤秀吉功路

全長：約3km／徒歩：約50分



豊臣秀吉の
出世物語を描いた
太閤秀吉モニュメント
(全30基設置)



㉕ 熊野社

鳥居の右に青銅の神馬が雄姿を見せます。祭神は伊邪那大神（いざなのみこと）で、境内の子安社では安産の守護神も祀っています。



㉖ 八角堂

聖堂建築の建物を再建。当初は尾張藩の藩校として使われました。第一土曜日のみ拝観できます。